

## 安全データシート

改訂日: 2021年1月7日

1. 化学品及び会社情報 化学品の名称(製品名) 会社名 住所 電話番号	塩化チタン(IV) 米山薬品工業株式会社 大阪市中央区道修町2丁目3番11号 (06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島) ad0653
整理番号	
2. 危険有害性の要約 GHS分類 健康に対する有害性	急性毒性(吸入:蒸気): 区分1 皮膚腐食性・刺激性: 区分1B 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性: 区分1
GHSラベル要素 絵表示又はシンボル	
注意喚起語 危険有害性情報	危険 吸入すると生命に危険(蒸気) 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 重篤な眼の損傷
注意書き	<b>【安全対策】</b> ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 適切な保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 <b>【応急措置】</b> 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。 <b>【保管】</b> 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。 施錠して保管すること。
GHS分類に該当しない他の危険有害性	<b>【廃棄】</b> 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 物理化学的危険性: 加熱すると分解し、有毒なフューム(塩化水素など)を生じる。水と激しく反応し、熱および腐食性フューム(塩化水素など)を生じる。空気に触れると、塩酸を発生する。水の存在下で、多くの金属を侵す。 健康に対する有害性: 眼、皮膚、気道に対して腐食性を示す。経口摂取すると、腐食性を示す。蒸気を吸入すると、肺水腫を起こすことがある。これらの影響は遅れて現われることがある。医学的な経過観察が必要である。肺、気道に影響を与え、機能障害を生じることがある。
3. 組成、成分情報 化学物質・混合物の区別 化学名又は一般名 別名 化学式 化学物質を特定できる一般的な番号 濃度又は濃度範囲(含有率) 官報公示整理番号(化審法/安衛法)	化学物質 塩化チタン(IV) 四塩化チタン $TiCl_4$ CAS RN: 7550-45-0 98%以上 (1)-262
4. 応急措置	

吸入した場合	新鮮な空気、安静。半座位。人工呼吸が必要になることがある。医療機関に連絡する。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服を脱がせ、多量の水かシャワーで皮膚を洗い流す。医療機関に連絡する。
眼に入った場合	数分間多量の水で洗い流し(できればコンタクトレンズをはずして)、医師に連れて行く。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。吐かせない。医療機関に連絡する。
予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	吸入： 咽頭痛。咳。灼熱感。息切れ。息苦しさ。症状は遅れて現われることがある。 皮膚： 痛み、発赤、重度の皮膚熱傷 眼： 痛み、発赤、重度の熱傷 経口摂取： 灼熱感、腹痛、ショック/虚脱
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	粉末消火剤、乾燥砂
使ってはならない消火剤	水、水系消火薬剤
火災時の措置に関する特有の危険有害性	水と反応して発熱し、塩化水素を発生する。注水厳禁。
特有の消火方法	周辺の火災時：水系消火薬剤不可、水不可
消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。 呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏れた液やこぼれた液を密閉式の耐酸性容器に出来る限り集める。 残留液を乾燥砂又は不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。 該当情報なし。
二次災害の防止策	
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体排気)	取扱場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密封する。
安全取扱い注意事項	吸込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。 火気、可燃物より遠ざける。 水、金属との接触を避ける。 取り扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避	
衛生対策	
保管	
安全な保管条件	換気のよい涼しい場所に密閉して保管する。遮光する。
安全な容器包装材料	ガラス
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度(出典)	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。作業場近くに手洗等の設備を設ける。
保護具	
呼吸用保護具	酸性用防毒マスクを着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
眼の保護具	ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業着を着用する。
特別な注意事項	取り扱い後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	無色～黄色
臭い	該当情報なし。
融点・凝固点	-24.1℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	136.4℃
可燃性	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	加熱により分解し、大気下であれば自発的に引火する。
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。

pH		該当情報なし。
動粘性率(粘度)		該当情報なし。
溶解度		禁水性。激しく分解する。
n-オクタノール/水分配係数		該当情報なし。
蒸気圧		1.3kPa(21.3°C)
密度及び/又は相対密度		1.728g/cm <sup>3</sup> (20°C)
相対ガス密度		6.5(空気=1)
蒸発速度		該当情報なし。
10. 安定性及び反応性		
反応性		水と激しく反応する。
化学的安定性		常温、水の無い密閉状態では安定。
危険有害反応可能性		水と激しく反応し、塩化水素を発生する。
		水の存在下で金属を腐食する。
避けるべき条件		水、大気との接触
混触危険物質		水、大気との接触金属。カリウム。
危険有害な分解生成物		塩化水素
11. 有害性情報		
急性毒性	吸入:	吸ラット LD50 0.4mg/L (吸入(蒸気)区分1)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		EU-ANNEX I の分類がR34であり容器等級がIIの為区分1Aとした。(区分1A)
		皮膚腐食性物質(区分1A)なので区分1とした。(区分1)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		該当情報なし。(分類できない)
呼吸器感作性又は皮膚感作性		該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性		該当情報なし。(分類できない)
発がん性		該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(単回暴露)		眼、皮膚、気道に対して腐食性を示す。経口摂取すると、腐食性を示す。蒸気を吸入すると、肺水腫を起こすことがある。これらの影響は遅れて現われることがある。医学的な経過観察が必要である(ICSC)。と記載があるが実験データが得られない為分類できないとした。(分類できない)
		肺、気道に影響を与え、機能障害を生じることがある(ICSC)。と記載があるが実験データが得られない為分類できないとした。(分類できない)
特定標的臓器毒性(反復暴露)		該当情報なし。
誤えん有害性		
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期: (急性)	該当情報なし。
	長期: (慢性)	該当情報なし。
残留性・分解性		該当情報なし。
生体蓄積性		該当情報なし。
土壤中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		1838
品名(国連輸送名)		四塩化チタン
国連分類		クラス8(腐食性物質)
容器等級		II
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		137
15. 適用法令		
化学物質管理促進法(PRTR法)		指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法		毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法		名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

消防法

危険物に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

国際化学物質安全性カード(ICSC)  
化学大辞典 共立出版  
16615 の化学商品 化学工業日報社  
GESTIS Substance Database

その他

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。